

当院における透析患者を対象としたフレイルの実態調査

研究の概要

フレイルは、認知症や転倒・疾病による機能障害に陥って介護が必要になる直前段階と正常との中間の心身状態を示す新しい疾病概念です。フレイルは病状の進行や日常生活動作の低下、死亡率の増加にもつながっており、大きな社会問題となっています。

透析患者においてフレイルに関する報告はあまりありません。当院では厚生労働省が提唱しているチェックリスト（別紙参照）を用いてフレイルの実態調査をおこなっています。今回、そのチェックリストを用いてフレイル患者の実態と特徴を後ろ向きに調査していきます。

研究対象

当院透析センターでフレイルチェックをおこなった全透析患者とします。

研究の意義

研究によって抽出された項目から栄養指導や運動療法等の介入方法を検討します。フレイル患者への介入が、要介護状態の回避または遅らせることに繋がることが考えられます。

研究の方法

チェックリストで聴取した内容により、フレイル群、プレフレイル群、ノンフレイル群と下記の項目について群間比較します。また、フレイルあり、なしに関連する因子についてロジスティック回帰分析を行います。

既に取得している基本情報、身体的情報、血液データを後ろ向きに調査します。

基本情報、身体的情報、血液データは以下のデータを使用します。

基本情報：性別、年齢、病名、既往歴

身体的情報：身長、体重

透析時の採血データ：BUN、UA、K、Cr、P、Ca、PTH、ALB TSAT Hb

GNRI KT/V %CGR

その他：透析条件 使用薬剤 CTR フレイルチェックリストによる病態分類

研究者氏名

本研究は、主体会病院透析室に所属する看護師 佐藤快丈が担当いたします。

共同研究者 瀬田直紀 臨床工学技士 阪田修平 臨床工学技士

野口佑太 作業療法士

個人情報に対する配慮

検査目的として使用されたデータをもとに研究利用させていただきます。
院内に保管している患者様の個人情報は院外に出ることがないように厳重に保管しています。

また、研究に利用するデータは患者様個人が特定されない方法で利用させていただきます。

研究者が保管している基本情報、身体的情報、血液データについてお知りになりたいときやそれらを使用してほしくないときには以下の連絡先までご連絡いただければ、対応させていただきます。

研究計画書及び研究方法に関する資料の入手・閲覧方法

研究計画書及び研究方法についてお知りになりたい場合には、以下の連絡先までご連絡いただければ、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で資料の提供または閲覧していただくことができるようにいたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

主体会病院 透析室

看護師 佐藤快丈

TEL : 059-354-1771 FAX : 059-354-0755